



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

荒木経惟

1940 東京都台東区生まれ
1963 千葉大学工学部写真印刷工学科写真映画専攻修了
東京在住

主な個展

- 2023 「白昼ノ樂園 黒夜ノ樂園」 artspace AM (東京)
「花人生」 何必館、京都現代美術館 (京都)
「ゴダールコスモス」 artspace AM (東京)
- 2022 「樂園ノ空」 artspace AM (東京)
「樂園ノ姉妹」 artspace AM (東京)
「花姫」 artspace AM (東京)
「Nobuyoshi Araki」 Oliver Malingue (ロンドン、イギリス)
「樂園日本」 artspace AM (東京)
- 2021 「Nobuyoshi Araki」 ブルス・ド・コメルス ピノー・コレクション (パリ、フランス) [カタログ]
「梅ヶ丘心中」 artspace AM (東京)
「Polaroids」 SHOP Taka Ishii Gallery (香港)
「七月七日」 artspace AM (東京)
「春枯れる」 artspace AM (東京)
「樂園」 artspace AM (東京)
- 2020 「恋空」 artspace AM (東京)
「傘寿」 artspace AM (東京)
- 2019 「月光写真」 artspace AM (東京)
「花曲」 SHOP Taka Ishii Gallery (香港)

「ARAKI TELLER 死生」 artspace AM (東京)
「四面哀歌」 artspace AM (東京)
「LIFE BY FILM by Nobuyoshi ARAKI」 Leica Gallery Bangkok (バンコク、タイ)
「夏幸福」 artspace AM (東京)
「人妻ポスカ」 artspace AM (東京)
「Effetto Araki」 Santa Maria Della Scala (シエナ、イタリア)
「梅ヶ丘墓情」 タカ・イシイギャラリー (東京) [カタログ]
「デロン君が帰ってきたゾーウ」 artspace AM (東京)
「花幽」 南京藝術學院美術館 (南京、中国)
「靈安冬春」 artspace AM (東京)
「銀塩女優 SUMMER XU」 artspace AM (東京)

2018 「涅槃少女」 artspace AM (東京)
「Impossible Love – Vintage Photographs」 C/O Berlin (ベルリン、ドイツ) [カタログ]
「AI エレジー」 artspace AM (東京)
「片目」 ラットホールギャラリー (東京) [カタログ]
「78 歳ノ写真夏」 artspace AM (東京)
「色盲老人 P」 artspace AM (東京)
「恋夢 愛無」 タカ・イシイギャラリー (東京) [カタログ]
「花人生 Flower-Life」 Over the Influence (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
「情色花縛」 LightSociety (北京、中国)
「VINTAGE PRINTS」 タカ・イシイギャラリー ニューヨーク (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ) [カタログ]
「天獄へのパスポート」 artspace AM (東京)
「The Incomplete Araki: Sex, Life, and Death」 セックス美術館 (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
「阿写羅」 artspace AM (東京)

2017 「私、写真。」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川) [カタログ]
「IMPOSSIBLE LOVE」 C/O Berlin (ベルリン、ドイツ)
「Clouds, Flowers & Nudes Photographs 1975-2005」 GALERIE JOHANNES FABER (ウィーン、オーストリア)
「文化写真」 artspace AM (東京)

- 「27th Month of Photography November 2017 Bratislava」(ブラチスラヴァ、スロバキア)
- 「ARAKI. TOKYO」Pinakothek der Moderne、Sammlung Moderne Kunst (ミュンヘン、ドイツ)
- 「ARAKI」Fondazione Bisazza (ヴィチエンツァ、イタリア)
- 「写真夏の昼の夢精」artspace AM (東京)
- 「センチメンタルな旅、1971-2017」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
- 「花幽園」ラットホールギャラリー (東京)
- 「東京は、秋」ギャラリー・アートグラフ (東京)
- 「写狂老人 A」東京オペラシティ アートギャラリー (東京) [カタログ]
- 「東京墓情 荒木経惟×ギメ東洋美術館」シャネル・ネクサス・ホール (東京) [カタログ]
- 「花遊園」エプソンイメージングギャラリー エプサイト (東京)
- 「写狂老人 A 17.5.25 で 77 歳 後期高齢写」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム (東京) [カタログ]
- 「THE SOLO EXHIBITION OF NOBUYOSHI ARAKI」Over the Influence Gallery (香港)
- KYOTOGRAPHIE 「机上の愛」建仁寺 両足院 (京都)
- 「写狂老人 A アラーキー@ISETAN—後期高齢書—」伊勢丹新宿店アートギャラリー (東京)
- [カタログ]
- 「東京人生」キドプレス (東京)
- 「淫春」artspace AM (東京)
- 「Last by Leica」artspace AM (東京)
- 2016 「ARAKI AMORE」Galleria Carla Sozzani (ミラノ、イタリア)
- 「机上の楽園」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー パリ (パリ、フランス)
- 「アラマメ」森岡書店銀座店 (東京) [カタログ]
- 「写経老人 A 76 歳」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム (東京) [カタログ]
- 「ARAKI」ギメ東洋美術館 (パリ、フランス) [カタログ]
- 2015 「寫眞の鏡の中の Kōri 人々 2018.5.25 備忘録」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム (東京) [カタログ]
- 「男—アラーキーの裸の顔」表参道ヒルズスペースオー (東京) [カタログ]
- 2014 「ARAKI Ojo Shashu - Photography for the After Life: Alluring Hell」Foam 写真美術館 (アムステルダム、オランダ) [カタログ]
- 「荒木経惟 往生写集—東ノ空・PARADISE」資生堂ギャラリー (東京)

- 「往生写集—愛ノ旅」新潟市立美術館（新潟）
- 「左眼ノ恋」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「往生写集— 顔・空景・道」 豊田市美術館（愛知） [カタログ]
- 2013 「東京ブルース 1977」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京） [カタログ]
- 「花小説」 西脇市岡之山美術館（兵庫）
- 「色（エロ）女（リアル）」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 2012 「センチメンタルな空」 ラットホールギャラリー（東京） [カタログ]
- 「過去・未来 写狂老人日記 1979年-2040年」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「荒木経惟写真集展 アラーキー」 IZU PHOTO MUSEUM（静岡） [カタログ]
- 2011 「写狂老人Aのフィルム・ノスタルジー」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「愛の劇場」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京） [カタログ]
- 「写狂老人日記」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京） [カタログ]
- 2010 「愛ノ時間」 ライカ銀座店サロン（東京）
- 「センチメンタルな旅 春の旅」 ラットホールギャラリー（東京） [カタログ]
- 「古希ノ写真」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「少女世界」 ギャラリー・ハシモト（東京）
- 2009 「遺作 空2」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「荒木経惟 広島ノ顔」 広島市現代美術館（広島）
- 「69 猥景」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 2008 「好色ペインティング」 ラットホールギャラリー（東京）
- 「花緊縛」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「B/W bondage」 Jablonka Galerie Berlin（ベルリン、ドイツ） [カタログ]
- 2007 「67 反撃」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「ARAKI GOLD」 l'Istituto Nazionale per la Grafica - Palazzo Fontana di Trevi（ローマ、イタリア） [カタログ]

- 2006 「東京人生」江戸東京博物館（東京）[カタログ]
「青森ノ顔 縄文ノ顔」青森県立美術館（青森）
「色淫女」タカ・イシイギャラリー（東京）[カタログ]
「Nobuyoshi Araki」Galeria Enrique Guerrero（メキシコシティ、メキシコ）
- 2005 「NOBUYOSHI ARAKI: Self, Life, Death」Barbican Art Gallery、(ロンドン、イギリス) [カタログ]
「飛雲閣ものがたり」エプソンイメージングギャラリーエプサイト（東京）
「Nobuyoshi Araki Tokyo Nude」Yoshii Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「Life Like – The World of Photography by Nobuyoshi Araki: Wanted: Dead and Alive - Works by the Genius Photo-maniac, Nobuyoshi Araki」ナンヤン・アカデミー・オブ・ファイン・アーツ（シンガポール）
「Life Like – The World of Photography by Nobuyoshi Araki: Flowers by Araki」エプソンイメージングギャラリーエプサイト（シンガポール）[カタログ]
「日本人ノ顔 石川ノ顔」金沢 21 世紀美術館（石川）
「Kaori」Reflex New Art Gallery（アムステルダム、オランダ）
- 2004 「冬春」タカ・イシイギャラリー（東京）
「色情花 Painting Flower」エプソンイメージングギャラリー エプサイト（東京）[カタログ]
- 2003 「荒木経惟 鹿児島ノ顔」霧島アートの森美術館（鹿児島）[カタログ]
「ARAKI by ARAKI」タカ・イシイギャラリー（東京）[カタログ]
「アラキ・ビューティー」イル・テンポ（東京）
「NOBUYOSHI ARAKI」Roth Horowitz（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「Tokyo Still Life」Tampere Art Museum（タンペレ、フィンランド）
「日本人の顔プロジェクト『福岡の顔』」福岡アジア美術館（福岡）[カタログ]
- 2002 「Nobuyoshi Araki」Reflex Modern Art Gallery（アムステルダム、オランダ）
「Tokyo Still Life」ヘルシンキ市立美術館（ヘルシンキ、フィンランド）
「小説ソウル 物語トーキョー」Ilmin Museum of Art（ソウル、韓国）
「花人生」何必館、京都現代美術館（京都）；その後 東京都写真美術館（東京）へ巡回 [カタログ]
「The World of Nobuyoshi Araki」Galleria Civica di Modena（モデナ、イタリア）
「Araki in Venice」Fondazione Querini Stampalia（ベニス、イタリア）
「Suicide in Tokyo」Padigline Italia, Giardini di Castello（ベニス、イタリア）

「小説ソウル」 三菱地所アルティアム（福岡）

2001

「ボラエロ」 コオジ オグラ ギャラリー（愛知）

「十勝平野喜怒哀楽」 帯広美術館（北海道）

「Tokyo Still Life」 イコン・ギャラリー（バーミンガム、イギリス） [カタログ]

「小説ソウル」 スパイラルホール（東京） [カタログ]

「色情狂」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]

「花曲」 HANASAKAN Café Gallery（鹿児島）

「花影」 ギャラリー・アートグラフ（東京）

2000

「ラブポートレート福生」 エプソン イメージングギャラリーエプサイト（東京）

「世紀末ノ写真」 東京日仏学院（東京） [カタログ]

「Nobuyoshi Araki」 Damasquine Art Gallery（ブリュッセル、ベルギー）

「Nobuyoshi Araki」 Galerie Kamel Mennour（パリ、フランス） [カタログ]

「Nobuyoshi Araki」 Galerie Almine Rech（パリ、フランス）

「写真私情主義」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]

「Nobuyoshi Araki」 ステデリック現代美術館（アントワープ、ベルギー）

「緑情 ボラエヴァシー」 NADiff（東京） [カタログ]

「センチメンタルな旅」 Centro per l'arte contemporanea Luigi Pecci（プラート、イタリア）；

その後 パリ国立写真センター（パリ、フランス） [カタログ]

「花情」 渋谷マークシティ（東京）

1999

「冬恋」 Toru Maeshima Gallery（和歌山）

「ARAKI NOBUYOSHI」 イル・テンポ（東京）

「アラキネマ・LOVE」 AIM Hall（東京）

「Alive」 台北市立美術館（台北）；その後 Contemporary Gallery（バンクーバー、カナダ）；

Gandy Gallery（プラハ、チェコ）；Galerie Bob Van Orsouw（チューリッヒ、スイス）へ巡回

[カタログ]

「アラキネマ・'99 夏 台北」 台北市立美術館（台北）

「流石」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]

「アラキネマ・Aの樂園」 東京都現代美術館（東京）

「荒木経惟 センチメンタルな写真、人生。」 東京都現代美術館（東京） [カタログ]

「Nobuyoshi Araki」 Scalo Art Space（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

- 1998 「Tokyo Nostalgia」 Galleria Photology (ミラノ、イタリア) [カタログ]
「Portraits and Flowers」 フォトグラファーズ・ギャラリー (ロンドン、イギリス)
「Nobuyoshi Araki: Tokyo」 フルダ市立美術館 (フルダ、ドイツ)
「A ノ樂園」 新宿高島屋コンコースにて屋外展示 (東京)
「Story Portrait」 チュラロンコン大学 (バンコク、タイ) [カタログ]
「アラーキーの純愛 COSMOSCO」 タカ・イシイギャラリー (東京) [カタログ]
「アラキネマ・東京コメディ イン ウィーン」 スパイラルホール (東京)
「アラキネマ・台北」 読売カルチャーサロン青山 (東京); その後 台北市立美術館 (台北)
「A 人生」 いきいき KAN 多目的ホール (富山); その後 タワーギャラリー (神奈川); サッポロ
ファクトリー (北海道); イムズホール (福岡)
「The Past = Photographs 1972-1973」 Städtisches Museum Leverkusen (レーヴァークーゼン、ドイツ)
「Tokyo, Shijyo — Markt der Gefühle」 Diechtorhallen Hamburg (ハンブルグ、ドイツ) [カタログ]
- 1997 「Nobuyoshi Araki」 Studio Guenzani (ミラノ、イタリア)
「Nobuyoshi Araki」 Galeria Starmach (クラカウ、ポーランド)
「アラキネマ・ウィーンと東京パラダイス」 原美術館 (東京)
「Arakinema: Tokyo Paradise」 Wiener Secession (ウィーン、オーストリア)
「Tokyo Comedy」 Wiener Secession (ウィーン、オーストリア) [カタログ]
「少女世界」 イル・テンポ (東京)
「アラーキー・レトログラフィス」 原美術館 (東京)
「花曲」 JM ギャラリー (東京) [カタログ]
「Shikijo」 Scalo Book Store (チューリッヒ、スイス) [カタログ]
「A 人生」 勝毎ホール (北海道); その後 ラフォーレミュージアム原宿 (東京)
「荒木経惟」 Galerie Bob Van Orsouw (チューリッヒ、スイス)
- 1996 「近景」 Blum & Poe (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
「花の時間」 エスパスタグホイヤー (東京)
「荒木経惟 The Face/The Death」 Pace Wildenstein and MacGill (ロサンゼルス、カリフォルニア州、
アメリカ)
「FAKE LOVE」 ギンザコマツ (東京) [カタログ]
「アラキネマ・花曲 2」 玉川高島屋 SC アレーナホール (東京)
「アラキネマ・小説写真」 スタジオ・モーリス (東京)

「墨汁奇譚」 Jablonka Galerie (ケルン、ドイツ)
「花陰」 ギャラリーイヴ (東京)
「東京小説」 エッグギャラリー (東京) [カタログ]
「花 Flowers : Life and Death」 西村画廊 (東京) [カタログ]
「過去 1972-1973」 Stadtparkasse Münster (ムンスター、ドイツ)
「死現実」 タカ・イシイギャラリー (東京) [カタログ]
「アラキー 顔 VS 裸」 スパイラルガーデン (東京)

1995 「東京小説」 Kunstmuseum Wolfsburg (ウォルフスブルク、ドイツ) [カタログ]
「童貞ダッチョ君の天才画」 スペースリンク (東京) [カタログ]
「荒木経惟：写真との出会い」 Encontros de Fotografia (コインブラ、ポルトガル) [カタログ]
「さっちゃんの夏」 ラフォーレミュージアム原宿 (東京)
「アラキネマ：センチメンタルな旅・冬の旅」 草月ホール (東京)
「A 日記／さっちゃんとマー坊」 Galerie Chantal Crousel (パリ、フランス)
「平成元年 ランス 5 月祭」 Le Garage (ランス、フランス)
「Nobuyoshi Araki」 Torch Gallery (アムステルダム、オランダ)
「荒木経惟：私日記」 カルティエ現代美術財団 (パリ、フランス) [カタログ]
「エロトス」 Gallery Index (ストックホルム、スウェーデン) ; その後 Gallery Bang (オスロ、ノルウェー) ; Forum; Stadtpark (グラーツ、オーストリア) へ巡回

1994 「猥褻写真展：墨汁奇譚と陰毛礼賛」 タカ・イシイギャラリー (東京) [カタログ]
「東京キューブ：無意識の東京」 White Cube (ロンドン、イギリス)
「アラキネマ・サマータイム」 スタジオエビス (東京)
「東京スード／私日記」 Luhring Augustine (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
「アラキネマ・アラキトロニクス」 スタジオ・モーリス (東京)
「私写真」 Jablonka Galerie (ケルン、ドイツ)
「空」 ギャラリーイヴ (東京)
「アラキネマ・私写真」 有楽町朝日ホール (東京)
「私写真」 有楽町朝日ギャラリー (東京)
「アラキネマ・猥褻写真」 スタジオエビス (東京) [カタログ]

1993 「エロトス」 パルコギャラリー (東京) [カタログ]
「愛の新世界」 LA CAMERA (東京) [カタログ]

「写狂人色日記の世界」 ウィズワンダーランド 6F (広島)

「東京日和」 ギャラリーヴェリタ (東京) [カタログ]

1992

「情事聴取：東京ファックス」 アプトギャラリー (東京)

「物事：日替わり写真展 1000 点」 P3 Art Environment (東京)

「アラキネマ・天使祭」 パルコ劇場 (東京)

「天使祭」 パルコギャラリー (東京)；その後 札幌パルコ (北海道)；心齋橋パルコ (大阪)

[カタログ]

「クルマド・トーキョー」 エッグギャラリー (東京) [カタログ]

「AKT-TOKYO 1971-1991」 Forum Stadtpark (グラーツ、オーストリア)；その後 Galerie Fotohof, Mirabellpark (ザルツブルグ、オーストリア)；Galleria Museo, Bolzano (ボルツァーノ、イタリア)；Kunsthal Rotterdam (ロッテルダム、オランダ)；Museum Folkwang (エッセン、ドイツ)；Münchner Stadtmuseum (ミュンヘン、ドイツ)；Bregenzer Kunstverein (ブレーゲンツ、オーストリア)；Museet for Fotokunst (オーデンセ、デンマーク)；Noldiga Fotocentret Ry (オウル、フィンランド)；Zone Gallery (ニューキャッスル、イギリス)；Galerie Bob Van Orsouw (チューリッヒ、スイス) へ巡回(-'95)

[カタログ]

「食事：Monochrome」 ギャラリーイマジシ (東京)

「写狂人日記」 エッグギャラリー (東京) [カタログ]

1991

「色景」 シードホール (東京)；その後 生活創庫 (名古屋) [カタログ]

「近景 2：花と裸がヤモリンスキー」 アセンス (大阪)

「ジャンヌ」 新潮社野外アートスペース (東京)；その後 ハートランド (静岡) [カタログ]

「近景」 細見画廊 (東京)

「アラキネマ・春景」 シネマライズ渋谷 (東京)

「移動 ナビの舞う空」 エッグギャラリー (東京) [カタログ]

「A's Nude Exhibition：恋人」 アプトギャラリー (東京)

「冬の旅」 エッグギャラリー (東京)

1990

「冬へ」 エッグギャラリー (東京)

「東京ラッキーホール」 アプトギャラリー (東京)

「アラキネマ：東京ヌード」 紀伊國屋ホール、土方巽記念アスベスト館 (東京)

「FOTO TANZ」 新宿コニカプラザ (東京)

「空景」 ギャラリーヴェリタ (東京)

- 「アラキネマ・空景」 日本出版クラブ会館（東京）
「愛しのチロ」 池袋ブックセンターリブロ（東京）
- 1989 「NOBUYOSHI ARAKI '89：厳選オリジナルプリント展」 ギャラリー光彩（東京）
- 1987 「愛の部分」 アートスペース美蕾樹（東京）
「ARAKISM 1967-1987」 ツァイト・フォト・サロン（東京）
「傀儡王子抄」 スパイラルホール（東京）
「アラキネマ 2」 スタジオ MAG（東京）
- 1986 「フォトライブ：東京劇場'86」 サッポロビアファクトリー（東京）
「アラキネマ・東京物語」 シネマライズ渋谷（東京）
「SHIBUYA STREET」 ドイフォトプラザ（東京）；その後 INAX 福岡ショールーム（福岡）
「アラーキー シブヤをアッジェする」 K's Bar（東京）
「A's 色情日記」 ツァイト・フォト・サロン（東京）
- 1985 「惜しみなく愛を奪う」 キッチンラーメン（東京）
「シネフォトグラフの女たち」 バー・リフレイン（東京）
「偽少女物語」 バー・ニューダグ（東京）
「不倫な女」 K's Bar（東京）
- 1984 「バルテュスの夏」 ピクチャー・フォト・スペース（大阪）
「少女世界」 ツァイト・フォト・サロン（東京） [カタログ]
- 1982 「愛の嵐 ARAKI」 ドイフォトプラザ渋谷（東京） [カタログ]
「私が写真だ」 ドイフォトギャラリー（東京） [カタログ]
「第3回 アラーキズム宣言」 朝日生命ホール（東京）
- 1981 「偽女高生リカ」 新宿闇市ショップ（東京）
「第2回 アラーキズム宣言」 ヤマハホール（東京）
- 1980 「アラーキズム宣言」 ニューヨーク・シアター（東京）
「真夏の夜の夢精・そして終戦記念日」 紀伊国屋画廊（東京）

- 「無論 (ナイロン) 100% 『ナイロン 100%』」 原田ビル 301 号室 (東京)
- 「虚実ツイゴイネルワイゼン」 紀伊国屋フォトスペース (東京)
- 「最新の写真展」 原田ビル 301 号室 (東京)
- 「偽写真展」 原田ビル 301 号室 (東京)
- 1979 「ニューヨーク初体験」 ミノルタフォトスペース (東京) ; その後 帯広ビルギャラリー (北海道)
- 1978 「センチメンタル・エロロマン : 女優たち」 芳林堂アートスペース (東京)
- 「畜像」 CAMP (東京)
- 「私景 1940-1977」 銀座キャノンサロン (東京)
- 1977 「東京ブルース」 銀座ニコンサロン (東京) / 大阪ニコンサロン (大阪)
- 「今年の写真」 白樺画廊 (東京)
- 「去年の写真」 白樺画廊 (東京)
- 1976 「私東京'76」 紀伊国屋画廊 (東京)
- 「わが愛・陽子」 銀座ニコンサロン (東京) [カタログ]
- 1975 「女優 関村妃」 ミノルタフォトスペース新宿 (東京)
- 1974 「写真・ビデオそして映画による女優たち展」 ギャラリー・マツグロツ (東京)
- 1973 「廢墟に花」 シミズ画廊 (東京)
- 「偽ドキュメンタリー・ハロゲン化銀汚染写真展 : 蟬の声」 紀伊国屋画廊 (東京)
- 1970 「連続写真展 : キッチンラーメン・エロリアリズム」 キッチンラーメン (東京)
- 「シュールセンチメンタリズム宣言 2 : カルメン・マリーの真相」 櫛画廊 (東京)
- 1967 「動物園」 三菱電機ギャラリー (東京)
- 「銀座」 三菱電機ギャラリー (東京)
- 1966 「中年女」 三菱電機ギャラリー (東京)
- 「地下鉄」 三菱電機ギャラリー (東京)

1965 「さっちゃんとマー坊」 新宿ステーションビル (東京)

主なグループ展

- 2025 「Stammering Circle」 Jam Factory Art Center (リヴィウ、ウクライナ)
「総合開館 30 周年記念 TOP コレクション 不易流行」 東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
「BLUMEN」 タケ ニナガワ (東京)
- 2024 「グループ展」 タカ・イシイギャラリー 京橋 (東京)
「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」 東京都現代美術館 (東京) [カタログ]
「Material provocativo para pensar. Fotografía japonesa contemporánea. Colección José Luis Soler Vila」 Museo Carmen Thyssen Málaga (マラガ、スペイン)
- 2022 「400 Polaroids: Nobuyoshi Araki/Daido Moriyama」 Ratio 3 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)
「わたしたちの東海道 富士山のある風景の魅力」 ベルナール・ビュフェ美術館 (静岡)
「Earth: A Retrospective」 Bombas Gens Centre d'Art (ヴァレンシア、スペイン)
「Body & Soul」 MARUANI MERCIER (ブリュッセル、ベルギー)
「Nobuyoshi Araki and Rinko Kawauchi」 Fundación Texo (アスンシオン、パラグアイ)
「Coming of Age: Participant」 フォンダシオン ルイ・ヴィトン (パリ、フランス)
「Love Songs: Photography and intimacy」 La MEP (パリ、フランス)
「Botánicas. Colección Per Amor a l'Art」 Pabellón Villanueva (マドリード、スペイン)
- 2021 「IN ABSENTIA」 Oliver Malingue (ロンドン、イギリス)
「CONTRAST = Light and Shadow」 船場アートサイトプロジェクト (大阪)
「My Flower」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム (東京)
- 2020 「Unearthed: Photography's Roots」 ダルウィッチ・ピクチャー・ギャラリー (ロンドン、イギリス)
「Golden Age: Five Masters of Japanese Photography」 Three Shadows Beijing (北京、中国)
「Coming of Age」 ドーバー ストリート マーケット 銀座 (東京) [カタログ]
- 2019 「GRADATION 代官山」 Tenoha Daikanyama (東京)
「Character Study」 Ratio 3 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)

- 「Survived!」 タカ・イシイギャラリー（東京） [カタログ]
- 「Japanese Photography - 1930s - 1970s」 Mai 36（チューリヒ、スイス）
- 「My Garden of Eden」 Christophe Guye Galerie（チューリヒ、スイス）
- 「The Gaze of Things: Japanese Photography in the Context of Provoke」 Bombas Gens Centre d'Art（ヴァレンシア、スペイン） [カタログ]
- 「Parergon: Japanese Art of the 1980s and 1990s」 Blum & Poe（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）
- 2018 「東京スケイプ Into the City」 世田谷美術館（東京）
- 「Feast for the Eyes」 Louisiana Museum of Art and Science（バトンルージュ、ルイジアナ州、アメリカ）；その後 Foam 写真美術館（アムステルダム、オランダ）；C/O Berlin（ベルリン、ドイツ）へ巡回 [カタログ]
- 「Foreign Bodies」 galeria Raster（ワルシャワ、ポーランド）
- 「清里フォトアートミュージアム収蔵作品展 『原点を、永遠に。-2018-』」 東京都写真美術館（東京）
- 2017 「Japanorama: New vision on art since 1970」 Centre Pompidou-Metz（メッス、フランス）
- 「Mémoire et lumière. Photographie japonaise, 1950-2000」 La MEP（パリ、フランス）
- 2016 「総合開館 20 周年記念 TOP コレクション 東京・TOKYO」 東京都写真美術館（東京） [カタログ]
- 「Japanese Photography from Postwar to Now」 San Francisco Museum of Modern Art（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
- 「Provoke: Photography in Japan between Protest and Performance, 1960-1975」 Albertina（ウィーン、オーストリア）；その後 Fotomuseum Winterthur（チューリッヒ、スイス）；Le Bal（パリ、フランス）；The Art Institute of Chicago（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）へ巡回 [カタログ]
- 2015 「Up Close: Erotic Japanese Photography」 The Space（香港） [カタログ]
- 「タカハシコレクション展 ミラー・ニューロン」 東京オペラシティ アートギャラリー（東京） [カタログ]
- 「For a New World to Come: Experiments in Japanese Art and Photography, 1968-1979」 ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）；その後 Grey Art Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）；Japan Society（ニューヨーク、ニューヨーク州、

アメリカ)へ巡回 [カタログ]

- 2014 「unseen existence」香港アートセンター (香港)
「Conflict, Time, Photography」テートモダン (ロンドン、イギリス、11月26日 - 2015年3月15日); その後 Museum Folkwang (エッセン、ドイツ、4月10日 - 7月5日); Staatliche Kunstsammlungen Dresden (ドレスデン、ドイツ、7月31日 - 10月25日)へ巡回 [カタログ]
「Japon」Abbaye Saint-André (メマック、フランス)
- 2013 「Self (S)sexpression: Unseen Vintages」Galerie Bob Van Orsouw (チューリヒ、スイス)
「高橋コレクション マインドフルネス!」霧島アートの森 (鹿児島); その後 札幌芸術の森美術館 (北海道)へ巡回 [カタログ]
「t-shirts」タカ・イシイギャラリー モダン (東京)
「花小説」西脇市岡之山美術館 (兵庫)
「アートがあればII」東京オペラシティ アートギャラリー (東京)
ギャラリーオープニング展「ジャパニーズ・フォトグラフィー 戦後 - 現在」タカ・イシイ
ギャラリー フォトグラフィー/フィルム (東京)
「LOVE 展: アートにみる愛のかたち—シャガールから草間彌生、初音ミクまで」森美術館 (東京)
[カタログ]
「ふたたびの出会い IZU PHOTO MUSEUM コレクション展」IZU PHOTO MUSEUM (静岡)
- 2012 「カルペ・ディエム - 花として、今日を生きる」豊田市美術館 (愛知) [カタログ]
- 2011 「nAckt. Newton & Araki」Museum der Moderne Mönchsberg (ザルツブルク、オーストリア)
「ヨコハマトリエンナーレ 2011 OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることが出来るか?」
横浜美術館 (神奈川) [カタログ]
- 2009 「荒木経惟・舟越桂 至上ノ愛像」高橋コレクション日比谷 (東京) [カタログ]
- 2008 「Asian Dub Photography」Fondazione Cassa di Risparmio di Modena (モデナ、イタリア)
「Dark Side Part 1」Fotomuseum Winterthur (ヴィンタートゥール、スイス)
「The art of japan | past - present - future. (Araki meets Hokusai / Kumi Machida)」
kestnergesellschaft (ハノーヴァー、ドイツ) [カタログ]
「アートは心のためにある: UBS コレクションより」森美術館 (東京)

- 「READ MY LIPS」 Peres Projects Berlin (ベルリン、ドイツ)
- 2007 「Eyes of an Island: Japanese Photography 1945-2007」 Michael Hoppen Gallery (ロンドン、イギリス)
- 「Les Autres」 Ratio 3 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)
- 「¿Qué pasa con las flores?」 Galeria Pepe Cobo (マドリッド、スペイン)
- 2006 「A Lover's Discourse」 Peres Projects (ロスアンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
- 2005 「RISING SUN, MELTING MOON, Contemporary Art in Japan」 The Israel Museum (エルサレム、イスラエル)
- 「ウナセラ・ディ・トーキョー ANOHI ANO TOKIO 残像の東京物語 1935～1992」 世田谷美術館 (東京)
- 「地球を生きる子どもたち」 Bunkamura ザ・ミュージアム (東京)
- 森山大道+荒木経惟「コンタクト・新宿・トリミング」 NADiff (東京)
- 「森山・新宿・荒木」 東京オペラシティ アートギャラリー (東京) [カタログ]
- 2004 「クラブ・パラディーソ 写真をめぐる愉しみ」 清里フォトアートミュージアム (山梨)
- 「イン・ベッド：生命の美術：ピカソ、ボイスからアラーキー、ビル・ヴィオラまで」 豊田市美術館 (愛知) [カタログ]
- 「Metamorph 9. International Exhibition of Architecture」 (ヴェネチア、イタリア) [カタログ]
- 「Flower as Image-From Monet to Jeff Koons」 Louisiana Museum of Modern Art (フムレベック、デンマーク)
- 「Rose c'est la vie: On Flowers in Contemporary Art」 Tel Aviv Museum of Art (テルアビブ、イスラエル)
- 「10 Year Anniversary Exhibition」 タカ・イシイギャラリー (東京)
- 「The Beauty of Darkness」 Reflex New Art Gallery (アムステルダム、オランダ)
- 「大阪・アート・カレイドスコープ OSAKA 04 春・花・生—21世紀の芸術と生命の交差」 大阪府立現代美術センター海岸通ギャラリー・CASO (大阪) [カタログ]
- 「I, ASSASSIN」 Wallspace Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 2003 「ハピネス 森美術館開館記念展」 森美術館 (東京) [カタログ]
- 「Phantom der Lust」 Neue Galerie (グラーツ、オーストリア) [カタログ]

- 「Japon 1945-1975: Un Renouveau Photographique」 patrimoine photographique (パリ、フランス)
[カタログ]
- 「Gallery Artists」 タカ・イシイギャラリー (東京)
- 2002 「アジア写真ビエンナーレ 2002」 ギャラリー・ラ・マール (ソウル、韓国)
- 2001 「Facts of Life」 Hayward Gallery (ロンドン、イギリス) [カタログ]
「1st Valencia Biennial: Communication Between The Arts」 (ヴァレンシア、スペイン) [カタログ]
「メイプルソープ&アラキー 百花乱々」 新津市美術館 (新潟) ; その後 小田急美術館 (東京) ;
美術館「えき」 KYOTO (京都) ; 大分県立美術館 (大分) [カタログ]
- 2000 「GENDAI: Japanese Contemporary Art - Between the Body and Space」 Center for Contemporary
Art, Ujadowski Castle (ワルシャワ、ポーランド) [カタログ]
- 1999 「Collected Works Contemporary Art since 1968」 Kunstmuseum Wolfsburg (ヴォルフスブルク、
ドイツ) [カタログ]
「Szenenwechsel XV」 Museum MMK für Moderne Kunst, Frankfurt am Main (フランクフルト、
ドイツ)
「La Collection de la Fondation Cartier pour l'art contemporain」 Centre culturel de Belém (リスボン、
ポルトガル)
- 1998 「写真ー可能性のかたち ドイツ・ディージー銀行コレクション」 原美術館 (東京)
「幻想植物展」 平塚市美術館 (神奈川)
「Under/Exposed」 Tunnelbana Metro U-bahn (ストックホルム、スウェーデン) [カタログ]
「Photo Diary」 Art Pavilion Zagreb (ザグレブ、クロアチア)
「Life is a bitch」 De Appel (アムステルダム、オランダ) [カタログ]
「Fetishes & Fetishism」 Passage de Retz (パリ、フランス) [カタログ]
「Fuori Uso: 1998 Mostrato」 Associazione Culturale Arte Nova Pescara (ペスカーラ、イタリア)
「Life, Border, Line: Struth, Pernone, Hohenbuchier, Jacobs, Araki」 Galerie Paul Andriessse (アムス
テルダム、オランダ)
「Nuit blanche」 Musée d'Art Moderne de la Ville de Paris (パリ、フランス) ; その後 Porin
Tademuseo (ポリ、フィンランド) ; Göteborgs konstmuseum (ヨーテボリ、スウェーデン) ; Bergen
Billedgalleri Rasmus Meyers Samlinger (ベルゲン、ノルウェー) へ巡回

「Car Culture 20 世紀写真に見る車社会」 清里フォトアートミュージアム（山梨）

「欲望場域 台北ビエンナーレ」 台北市立美術館（台北）

「超日常／7 人の日本の現代美術」 上海市美術館（上海、中国）

「広重とアラキー」 ジャポニスム美術館（静岡）

「写真の未来学」 エプソンイメージギャラリーエプサイト（東京）

「淫光写 ARAKI vs WEEGEE」 ギャラリーHAM（愛知）

「冬恋」 佐谷画廊（東京）

「Filtre」 Galerie Almin Rech（パリ、フランス）

1997 「第 33 回 今日の作家展 都市の情景・複数性のなかの単一性」 横浜市民ギャラリー（神奈川）

「Cities on the Move」 Wiener Secession（ウィーン、オーストリア）；その後 Musee d'art contemporain de Bordeaux（ボルドー、フランス）；PS1（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）；Louisiana Museum of Modern Art（フムレベック、デンマーク）；Hayward Gallery（ロンドン、イギリス）へ巡回

「揺れる女／揺らぐイメージ フェミニズムの誕生から現代まで」 栃木県立美術館（栃木）

[カタログ]

「SHASIN 展」 神戸ファッション美術館（兵庫）；その後 三越美術館・新宿（東京）；福岡県立美術館（福岡） [カタログ]

「荒木経惟&ラリー・クラーク」 タカ・イシイギャラリー（東京）

「Du construit du paysage」 Centre Régional d'Art Contemporain à Sète（セット、フランス）

「Amours」 カルティエ財団現代美術館（パリ、フランス） [カタログ]

「第 10 回 国際イメージ・ビエンナーレ」 アンドレ・マルロー文化センター（ヴァンドゥーヴル＝レ＝ナンシー、フランス）

「Lust and Leere (Desire and Void)」 Kunsthalle Wien（ウィーン、オーストリア）；その後 ARKEN Museum of Moderne Kunst（コペンハーゲン、デンマーク）；Kunsthalle zu Kiel（キール、ドイツ）へ巡回

「Nobuyoshi Araki, Diane Arbus, Nan Goldin」 Sammlung Goetz（ミュンヘン、ドイツ） [カタログ]

「花淫」 ギャラリー小柳（東京）

1996 「Nobuyoshi Araki and Michiko Kon」 Center for Photographic Art（カーメル、カリフォルニア州、アメリカ）

「Szenenwechsel X」 Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）

「Nobuyoshi Araki, Thomas Struth, Christopher Williams, Larry Clark」 バーゼル美術館（バーゼル、

スイス) [カタログ]

「Prospect '96」 Museum fur Moderne Kunst, Frankfurt am Main (フランクフルト、ドイツ)

[カタログ]

「Sex and Crime」 Sprengel Museum (ハノーヴァー、ドイツ) [カタログ]

1995 「Carnegie International 1995」 カーネギー美術館 (ピッツバーグ、ペンシルベニア州、アメリカ)

「Texture and Touch: Contemporary Photography from Japan」 ニューサウスウェールズ美術館

(シドニー、オーストラリア)

「The Act of Seeing (Urban Space), Taking a Distance」 Fondation pour l'Architecture (ブリュッセル、ベルギー)

「Vision of Hope and Despair」 シカゴ現代美術館 (シカゴ、イリノイ州、アメリカ)

「The Dead」 National Museum of Photography, Film & Television (ブラッドフォード、イギリス);

その後 ホーセンス美術館 (ホーセンス、デンマーク) へ巡回

「Site of Being」 ICA Boston (ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ)

「GINZABOUT」 ザ・ギンザ アートスペース (東京)

「日本の現代美術 1985-1995」 東京都現代美術館 (東京)

1994 「空間・時間・記憶 Photography and Beyond in Japan」 原美術館 (東京); その後 ルフィーノ・

タマヨ美術館 (メキシコシティ、メキシコ); バンクーバー美術館 (バンクーバー、カナダ);

ロサンゼルス・カウンティ美術館 (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ); コークラン・

ギャラリー・オブ・アート (ワシントン DC、アメリカ); デンバー美術館 (デンバー、コロラド

州、アメリカ); ホノルル現代美術館 (ホノルル、ハワイ州、アメリカ) (-'95) [カタログ]

「彼岸から」 東京デザインセンター (東京)

「Tokyo Love」 ザ・ギンザ アートスペース (東京) [カタログ]

「荒木経惟×世界異才写真展」 スパイラルホール (東京) [カタログ]

「Body and Memory: Nobuyoshi Araki and Larry Clark」 Sala Parpalló (ヴァレンシア、スペイン)

「Portraits」 Galerie Samia Saouma, Paris, France

「Liquid Crystal Futures」 Fruitmarket (エディンバラ、イギリス); その後 ヨーロッパ、東京へ巡回

「KARADA が ART になるとき (物質になった器官と身体)」 板橋区立美術館 (東京) [カタログ]

「人間の条件」 スパイラルホール (東京); その後 芦屋市立美術博物館 (兵庫) [カタログ]

1993 「肉体のイメージ」 フランクフルト芸術協会 (フランクフルト、ドイツ) [カタログ]

「日本の現代写真家」 チューリヒ美術館 (チューリヒ、スイス)

- 「ブルータス 絶対裸体 2」原宿ラフォーレミュージアム・エスパス（東京）
「ラヴ・ユー・トーキョー」世田谷美術館（東京）[カタログ]
「荒木経惟、ソフィ・カル、ラリー・クラーク、ジャック・ピアソン」Luhring Augustine
（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 1991 「日本の写真、1970年代 -凍結された「時」の記憶-」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 1990 「Photos de famille」Grande Halle de La Villette（パリ、フランス）[カタログ]
「東京一都市の視線」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 1989 「11人の1965～75 日本の写真は変えられたか」山口県立美術館（山口）[カタログ]
- 1986 「Forografia Japonesa Contemporanea」Casa Elizalde（バルセロナ、スペイン）；その後 Círculo de Bellas Artes（マドリード、スペイン）[カタログ]
- 1985 「dumont foto 5: Die japanische Photographie」Museum für Kunst und Gewerbe（ハンブルク、ドイツ）[カタログ]
「パリ・ニューヨーク、（東京）」つくば写真美術館'85（茨城）；その後 宮城県立美術館（宮城）
[カタログ]
- 1983 「現代日本の美術 2 : 風景との出会い 私風景'83 初夏」宮城県立美術館（宮城）
「6 x 7の女」ツァイト・フォト・サロン（東京）
- 1979 「Japan: A Self Portrait」ICP（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）[カタログ]
- 1976 「Neue Fotografie aus Japan」Kulturhaus der Stadt Graz（グラーツ、オーストリア）；その後
ウィーン、オーストリア；シュトゥットガルト、西ドイツへ巡回（-'78）[カタログ]
「12人の写真家による自選作品展」資生堂ザ・ギンザ（東京）
- 1974 「15人の写真家」国立近代美術館（東京）[カタログ]
「写真についての写真展」シミズ画廊（東京）
「写真から写真へ」ギャラリー・マツグロツソ（東京）

- 1972 「第11回 現代日本美術展」東京都美術館（東京）；その後 京都市美術館（京都）へ巡回
[カタログ]
- 1971 「複製写真」紀伊國屋ギャラリー（東京）
「第10回 現代日本美術展：一人間と自然」東京都美術館（東京）；その後 京都市美術館（京都）
へ巡回 [カタログ]

受賞歴

- 2012 第54回毎日芸術賞・特別賞
第6回安吾賞
- 2008 オーストリア科学・芸術勲章
- 1994 日本文化デザインフォーラム大賞
- 1991 第7回東川賞
- 1990 日本写真協会年度賞
- 1964 第1回太陽賞

パブリック コレクション

- ARKEN Museum for Moderne Kunst（デンマーク）
- Art Gallery of New South Wales（シドニー、オーストラリア）
- Centre National des Arts Plastiques（パリ、フランス）
- ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）
- 熊本市現代美術館（熊本）
- ドイツ銀行グループ, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）
- ドイツ取引所, Frankfurt am Main（フランクフルト、ドイツ）
- カルティエ財団現代美術館（パリ、フランス）
- サンドレット・レ・レバウデンゴ財団現代美術館（トゥリン、イタリア）
- Fonds National d'Art Contemporain（パリ、フランス）
- Fotomuseum Winterthur（ヴィンタートゥール、スイス）
- 原美術館（東京）
- IZU PHOTO MUSEUM（静岡）

川崎市民ミュージアム (神奈川県)

Kunsthalle Winterthur (ヴィンタートゥール、スイス)

Kunstmuseum Wolfsburg (ヴォルフスブルク、ドイツ)

M+ (香港)

ヨーロッパ写真美術館 (パリ、フランス)

モントリオール美術館 (モントリオール、カナダ)

モデナ市近代美術ギャラリー (モデナ、イタリア)

ザルツブルク近代美術館 (ザルツブルク、オーストリア)

Museum Moderner Kunst Stiftung Ludwig Wien (ウィーン、オーストリア)

フランクフルト近代美術館 (フランクフルト、ドイツ)

東京都現代美術館 (東京)

クラクフ国立美術館 (クラクフ、ポーランド)

新潟市美術館 (新潟)

Peter Norton Collection (テート) (ロンドン、イギリス)

Pinakothek der Moderne (ミュンヘン、ドイツ)

Queensland Art Gallery | Gallery of Modern Art (クイーンズランド、オーストラリア)

サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)

ゲッツコレクション・現代美術ギャラリー (ミュンヘン、ドイツ)

Sammlung Hoffman (ベルリン、ドイツ)

世田谷美術館 (東京)

Stedelijk Museum Amsterdam (アムステルダム、オランダ)

テート (ロンドン、イギリス)

Telenor Foundation (ノルウェー)

イスラエル博物館 (エルサレム、イスラエル)

ロサンゼルス現代美術館 (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)

ヒューストン美術館 (ヒューストン、テキサス州、アメリカ)

ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)

東京都写真美術館 (東京)

豊田市美術館 (愛知)

UBS コレクション (チューリッヒ、スイス)

山口県立美術館 (山口)

横浜美術館 (神奈川県)